

令和４年度 研究成果最適展開支援プログラム 戦略テーマ重点タイプ
技術テーマ
「ＩｏＴ、ウェアラブル・デバイスのための環境発電の実現化技術の創成」
追跡評価報告書

評価概要（公開用）

研究開発課題４課題のうち２課題が本事業の成果を活用して新たな競争的研究費を獲得し、研究開発を発展させている。各課題とも多少の差はあるが、ほぼ当初の予定通りの研究開発成果を創出している。未だ研究開発成果の商品化には至っていないが、本技術開発テーマの支援により、実用化に向けてステップアップすることができている。アーリーステージの研究開発に対する制度支援としての効果は適正であったと思われる。

本事業に参画した企業の全てが当初計画の事業化を断念したことは、現状での環境発電ビジネスの難しさを改めて示したものと言える。他方、研究開発課題の終了時までには大変興味深い発見も得られており、次に繋がる研究成果は十分に残したと評価できる。引き続き、本技術テーマの様なチャレンジングな技術領域の研究開発テーマを設定していくことは、極めて有意義であると考ええる。

この技術テーマのようなシーズ発展型のプログラムにアーリーステージから参画する企業には、最終的な実用化・製品化の担い手としての役割を期待するのではなく、研究開発課題実施時には、実用化に向けて研究を導く役割を重視するという考え方も現実的ではないか。また、一方で技術テーマ終了後に事業化を目指す企業との共同研究やマッチングを積極支援する制度を創設し、組み合わせることを提言したい。

以上